

「NPO 法人ばおでの活動を通して」

活動先：NPO 法人 ばお
クラス：末盛 慶 先生

1. サービスラーニングを通して学びについて

・自分の成長と気づき

バスツアーから始まったサービスラーニングでの活動だが、まだこのバスツアーでは、たくさんの NPO 法人を見学し、職員の方々からお話を聞く、といった他のゼミ活動でも行っているような活動である。しかし、サービスラーニングの醍醐味はここからであり、この醍醐味は私たち自身に大きなハードルあたえ、そしてそれは大きな成長へと変えた。

私は、NPO 法人ばおという不登校・ひきこもりなどの子どもやその家族を支援する場所で活動させていただいた。ここでの活動では、事前訪問から大きな壁が立ちほだかった、というよりは私自身が壁を作っていたのだ。その壁とは子ども達が学校に行っていないという認識を私が持ちすぎていたことだ。そのせいで、子ども達とコミュニケーションをとる上で慎重になりすぎてしまい、うまく話せなかったりした。

しかし、この行き過ぎた認識は考え方を変えることで解消された。その考えとは、学ぶ場所＝学校ではないということだ。ばおの子どもたちは学校では学ぶことができない大切な事を活動の中で学んでいる。命の大切さや、働くということ、他の年代の人たちと関わりも持つことなど、どれも“今”学ぶことに意味があるものなのだと気付かされた。学びというのは、国語や算数がすべてではないのだ。このように考え方を大きく変えたことで、子ども達と円滑にコミュニケーションをとることができた。

SL というゼミは他のゼミと違い、SL センターや先生方のバックアップを支えに計画から実行までを、自分たちが活動先の方と話し合いをし、自分たちで実行する。実行までの過程の中で困難なことが起こっても“自分たちがやるしかないのだ！”と何度も強く心に思った。このようなことは今までの人生の中で経験したことのない責任感であった。活動先の皆様の大切な時間を私たちの学びのために使わせていただく重大さは、このように私の中で責任感へと変わった。その思いは自分たちの足で動き行動し、実行していく力を発揮することに繋がった。この力はこの活動を通して得た私の財産である。

2. 活動を通して見えてきた地域活動や社会課題

半田市という範囲でみれば、半田市の NPO 法人はとても連携して活動している地域であると感じた。これは交流や意見交換をする上で利点として働き機能しているように感じる。ばおでもいくつかの法人と関わりがあり、活動の可能性を広げたりと、やはり利点として機能している。

社会課題として私が挙げるのは 2 つある。それは経済的問題と広報に関する課題だ。法

人を運営していく上で経済的な問題を切り離せないでいる法人とそうでない法人とでは差ができてしまっている。NPO 法人というのは必要とする人がいるから存在するのであり、私たちの大切な社会資源である。そのような認識はおろか、NPO 法人て何？と疑問を抱いている人も少なくないであろう。世の中がもっと目を向け、必要性に気づくことができれば NPO 法人というものの自体の位置付けもかわり、このような問題は緩和されるであろう。

広報についての問題は経済的問題とも関連しているが、NPO 法人という存在が知られていないことである。逆に法人側も自分たちを必要とする方たちと出会うことが出来ず、もどかしさを感じているであろう。このようなすれ違いは意識の持ちよう、と少しの努力で改善されていく問題だ。

私は、活動を通して NPO 法人の必要性に身を持って気づいた。だからこそ、自分の中の大切な社会資源として理解し、他の人々にも広めていきたい。少しでも力になりたい。

地域現場を感じ、その「気づき」から準備を進めていきます。

